

厚木飛行場の騒音問題の抜本的解決に係る要望書

5月10日、14日、15日の3日間、7年ぶりにジェット機による夜間連続離着陸訓練（NLP）が、厚木飛行場で実施されました。

3日間のNLPによる激しい騒音により、基地所在市の大和市・綾瀬市や基地周辺の横浜市など神奈川県内の住民からだけでなく、東京都町田市住民からも多くの抗議が寄せられたところでもあります。

もとより日米安保体制に基づく訓練の必要性については理解するところですが、人口密集地域の飛行場で、このような周辺住民にとって耐え難い騒音を伴う訓練が実施されたことは、誠に遺憾であります。

国においては、都市化の進んだ首都圏における基地の実情を十分認識し、平成18年5月に在日米軍再編として日米政府間で合意された、空母艦載ジェット機等の厚木飛行場からの移駐及び恒常的訓練施設の確保を確実に実現することなど、騒音問題の抜本的解決に向けて、特段の措置を講じられるよう要望いたします。

平成19年6月15日

内閣総理大臣	安	倍	晋	三	様
外務大臣	麻	生	太	郎	様
防衛大臣	久	間	章	生	様
防衛施設庁長官	北	原	巖	男	様

八都県市首脳会議

座長	千葉県知事	堂	本	暁	子
	埼玉県知事	上	田	清	司
	東京都知事	石	原	慎	太郎
	神奈川県知事	松	沢	成	文
	横浜市長	中	田		宏
	川崎市長	阿	部	孝	夫
	千葉市長	鶴	岡	啓	一
	さいたま市長	相	川	宗	一